



静岡県地方版
第390号
2024-6-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

学習を力に同盟活動を進めよう

県本部事務局次長 勝呂 伸子

昨今の国内外の情勢について言いたいことや書きたいことは多々ありますが、その中のひとつに世界が戦争への道に進みつつあると思われる事があります。世界では第三次世界大戦などといった声がある中、国内でも戦争できる国づくりは安倍政権時の戦争法案から岸田政権に受け継がれて、あらゆる分野で国民に危機感を与え、気がつけば戦争法、共謀罪、秘密保護法などを成立させ発動できる体制が作られています。同盟の「再び戦争と暗黒政治を許さない」の旗印の下私たちも気を引き締め情勢に対応してゆかねばと思いい、そのためにも学習し色々な事を知ることがとても大事になると再認識しました。

同盟活動の基本に署名活動や会員拡大があります。が、それらにとりくんでいくにも学習（個人としてまた支部として）が力になります。

活動の場や手立てを紹介したいと思います。はじめに中央本部発行の『治安維持法と現代』誌（春と秋の年2回発刊）を紹介したいと思います。私の中ではもし読みたい本、読まなくてはならない本というなら是非とも読んで頂きたい本です。実に内容が豊かで、社会情勢から全国での治安維持法犠牲者の継承活動の報告があり、また様々な分野からの論考があり読み応えのあるものです。（因みに今年の春季号は、前川喜平氏の「自民党の教育政策の功罪―国家主義と新自由主義がもたらしたもの」、小沢隆一氏の「緊急事態改憲論の問題点」など）県本部での普及数は500名近い会員に対して72冊です。多くの方に読んで頂き活動の力にして欲しいです。そして全国の仲間との交流や学習の場としては、毎年開催される東海ブロック交流会や全国女性交流会などもあり、巾の広い学習ができます。機会がありましたら是非ご参加下さい。いくつになっても何らかの活動や学習をすることは大事だと思います。ご一緒に頑張っていきましょう。

（すぐろ のぶこ）

第十回県本部理事会を開催

6/11、静岡国労会館において第十回県本部理事会が、理事15人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が開会あいさつ。岸田政権を追い詰め自民党政治を転換する情勢が進展している。治安維持法化下の弾圧に屈せず戦争反対、社会変革のために奮闘してきた先人たちの「闘いと抵抗の歴史」に誇りと確信をもって、平和と人権の輝く世界と日本をつくるために頑張っていこうと語りました。

続いて情勢報告を佐野正明副会長、活動のまとめと当面の課題についての報告を早崎末浩事務局長が行いました。

情勢報告は、国内情勢、国際情勢、県内情勢について行いました。

今国会での焦点になっている政治資金規正法改定案は、自民党と公明、維新の修正協議のもと自公と維新の賛成で衆院を通過した。しかしこれまで野党が一致して要求していた企業・団体献金の禁止には一言もふれないもの。また、脱法的に使い道を隠してきた政策活動費を合法化したことは改正どころか改悪といえるもの。岸田政権の支持率が引きつづき低迷し自民党の政治への国民的不信が広がるもとで7月7日投票の都知事選が大きな注目をあびています。この知事選に市民と野党の共闘候補として立憲の蓮舫参院議員が立候補を表明したことは、共闘の陣営に大きな希望を与えています。蓮舫氏は「自民党政治を支えている小池都政は終わらせなければ

いけない」と強調しました。日本共産党の小池書記局長は、「最強・最良の候補者が名乗りを上げてくれた。日本共産党として勝利のために全力を尽くしたい」と表明しました。

6月末の「特別期間」内に500人会員を

当面の課題としては、6/19・20の全国大会を前に会員拡大のとりくみがはかられています。4月から始まっている全国大会成功をめざす「会員拡大特別期間」入って16人が新入会者を拡大しています。この内4人（江川謙一、早崎末浩、佐野正明、芝田令子）は5人以上拡大の顕彰基準を突破しています。8支部中6支部で新入会員を迎え、現在の会員数は491人と過去最高になっていますが、すべての支部が次期県本部大会に向けて掲げている520人目標の実現をめざしつつ「特別期間」である6月末までに500人会員を突破していきましょう。

8月25日に第41回県本部大会を開催

県本部理事会で今年の県本部大会を次の日程で開催することを確認しました。

◇日時：8月25日（日）午前十時～午後三時

◇会場：清水民商会館

◇代議員制による開催。記念講演、大会議事、懇親会の三部構成での開催を予定。

+ 私と国賠同盟

伊豆支部 塚平 育代

岸田政権は、裏金事件を受けた政治資金規正法改定を、公明党、維新の会と一体になってごり押ししています。その内容は企業・団体献金禁止などの文言もなく、国民の政治とカネに対する怒りを一層深めることになっています。アメリカは、岸田政権が43兆円の軍拡、敵基地攻撃能力の保有・トマホーク購入、武器輸出の拡大など、70年来の政策の隅々に手を入れてくれたと絶賛し、日米首脳会談の共同声明は日米軍事演習の一体化強化も合意しました。今年、憲法施行77年の年。前文で「政府の行為によってふたたび戦争の参加が起こることのないやうにする」と決意を謳っているのに、岸田政権は憲法を蹂躪・空洞化し、戦争する国づくりに突き進んでいます。裏金事件を契機に、腐敗政治のない新しい政治を求める声が渦巻いています。国賠同盟の一員として、自民党政治を終わらせ、歴史を戦前に戻させないため、憲法を活かした希望ある政治を実現するチャンスをものにしたいと思います。(函南町・つかだいら いくよ)

「わが青春つきるとも」第三次上映運動

志太榛原支部が4会場で開催、127人が参加

5月18日から26日にかけて志太榛原支部がとりくんだ「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映会では、吉田会場(48人)、焼津会場(30人)、藤枝会場(28人)、島田会場(21人)と合わせて127人が参加。共通の上映協力券を発行してとりくみました。各会場で「良かった」「感動した」との声が寄せられました。上映会後に参加者を訪問、これまでに14人と話して6人が同盟に入会してくれています。

岳南支部でも7月14日に上映会を計画

岳南支部としては初めてのとりくみとなる上映会を7月14日(日)午後1時より富士宮市駅前交流センターきらら2F集会室で開催します。1000円の上映協力券も発行して参加の呼びかけを進めています。支部では上映会後、連続して同会場で支部の総会を開催し、支部の体制確立などをはかっていくことにしています。

訃報

◇中東遠支部・清水澄夫さん、5月21日死去、77歳。

浜岡町議一期、御前崎市議四期を務めました。

ご冥福をお祈り致します。

会員拡大と国会請願署名到達

2024・6・11現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	4月到達	増減	現在到達	夫婦会員	団体目標	4月到達	増分	5月末到達	個人目標	4月到達	増分	5月末到達
伊豆	27	24		24	6	40	0	+2	2	280	10	+4	14
沼駿	60	58	+1	59	14	48	40	+3	43	640	453	+144	597
岳南	25	19	+1	20	6	32	24	+5	29	280	134	+1	135
清水	45	35		35	8	50	24		24	900	820		820
静岡	45	36		36	2	64	0		0	400	17		17
志太椋原	140	135	+6-2	139	36	40	34	+4	38	320	407	+79	486
中東遠	105	102	-1	101	16	40	41	+2	43	320	345	+3	348
西部	73	73	+5-1	77	8	64	7		7	600	219	+67	286
県本部	-	-		-		22	2		2	260	43		43
合計	520	482	+13-4	491	96	400	172	+16	188	4,000	2,448	+298	2,746

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

(会員の皆さんの作品を適宜紹介します。作品をお寄せ下さい。)

「助けて」と言えなかったのはなぜなのか
自己責任とう冷たい言葉

藤枝市 園田 真弓

壁を建て自由も奪い追つめる
恐るべしその国(イスラエル)の自衛権

島田市 中川 優美

はてしなき さくらの土堤に このまちを
護り徹した 戦士をしのぶ

(志太平洋野、瀬戸川ほとりにて)

静岡市 松浦美智世

編集後記

▼自民党の裏金問題に端を発した政治資金規正法改正は今国会の焦点ですが、維新や公明と妥協をはかったものの問題の根源にある企業・団体献金に全くふれられないもので岸田政権の浮揚に繋がらず、国民の自民党政治への不信は一層強まっています。▼このようなもと、日本の政治を大きく左右する都知事選が迫っています。野党の共闘候補として蓮舫氏擁立が希望を与えています。政治の転換に力をあわせましょう。

S・H

